

旧吉田茂邸（大磯町郷土資料館別館） 大磯町



所在地 大磯町西小磯 418
建物概要 木造、一部鉄筋コンクリート造
地上2階、地下1階
建築面積 602.58 m²
管理者 大磯町郷土資料館
交通 JR東海道線「大磯駅」下車
徒歩：約30分（2km）バス：二宮駅
行・湘南大磯住宅行に乗車「城山公園前」下車徒歩5分

旧吉田茂邸は戦後の内閣総理大臣を務めた吉田茂（1878-1967）が暮らしていた邸宅です。もとは明治17年（1884）に吉田茂の養父・吉田健三が土地を購入し、別荘を建てたのがはじまりです。養父亡きあと吉田茂が邸宅を引き継ぎました。昭和20年（1945）より大磯の邸宅を本邸とし、晩年を過ごしました。

本施設は吉田茂が暮らした当時の邸宅を復元したものです。昭和22年（1947）頃建てられた応接間棟、および昭和30年代に近代数寄屋建築で有名な吉田五十八が設計した新館をメインに再建しています。

アール・デコの要素を取り入れた直線的な建物の外観や、モルタル塗り廻しの大壁といった近代的な素材を利用した和風建築、また内部も空間を広く見せるために、部屋の柱をできるだけ見せない造りとなっているなど、近代数寄屋建築と呼ばれる吉田五十八の手法が随所にみられます。

（2018年9月現在）

Gallery

写真右 応接間 1F

写真中 ローズルーム

写真下 銀の間

